

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第1回 明生小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和 7年 5月 23日(金) 10:00 ~ 12:00

2 場 所 会議室

3 あいさつ(学校長、委員長)

○今回の協議会は令和7年度の学校経営方針について承認していただくのがメイン。学校通信を見ていただきながら、本年度の様子を紹介する。学力調査は、最後まで粘り強く書くことを目標にがんばっていた。野菜作りなど、たくさんボランティアのお世話になっている。先日も2名新規の応募があった。募集にあたっては、負担のないように、という一文を付け加えた。不登校対策は、家庭と連携しつつ長欠にならないよう支援していく。(学校長)

※)新規の委員さんもいるため、参加者全員が順に自己紹介。

○学校運営協議会が設置されている学校をコミュニティ・スクールという。明生小は、さらに地域活動協働委員会を作り、先進的に取り組んでいただいている。(コミュニティ・スクール推進アドバイザー)

4 協議内容

(1) 令和7年度 学校経営の改革方針について(学校長)

- ・学力を支える基盤となる4つの非認知能力、「やりぬく力」「自制心」「自己肯定感」「社会性」の育成を図り、学力の向上をめざす。
- ・職員の総勤務時間縮減について、月平均時間外労働時間 22時間以下を目指す等、少し高い目標ではあるが、意識して取り組む。
- ・OJT 研修、授業力アップ5の活用等、工夫して教員の指導力向上に取り組む。
- ・家庭学習の定着、強化を図る。自主学習ノートを活用する。
- ・いじめの未然防止、早期発見に努める。いじめ防止対策委員会を開催し、児童のアンケートをもとに協議する。
- ・欠席状況の見える化による、不登校の早期発見。ほっとルームの活用。等

(2) 令和7年度 学校配当予算について(教頭)

- ・消耗品費が減額となっている以外は、昨年度と大きく変わりはない。物価の値上がりもあり、市内のどの学校も修繕費、維持費が苦しい。消耗費については、いろいろな場面で節約してやりくりしていく。

(3) 学校関係者評価について(学校長)

- ・新しい鈴鹿市教育振興基本計画に基づいて、皆さんには①学力向上×ICT 活用②長期

欠席対策③地域連携④非認知能力の育成⑤人権教育の推進の5つのカテゴリーについて評価していただきたい。太字アンダーラインが、昨年度の反省を反映したもの。年度末に最終的な評価をお願いします。

(4) 令和7年度 明生小学校学校運営協議会の取り組みについて(意見交換)

- ・限られたスタッフでよくやっていたている。
- ・普通の企業ではないほど働いてもらっている。学校規模に関わりなく、働き方の工夫をしていくとよい。教職員のなり手がなくなっていくか心配だ。

(校長)対策の一つとしては、留守番電話の設定を再確認し、周知する予定でいる。

- ・インクルーシブ教育に関わって、特別支援学級の児童、外国籍の児童、発達障がいのある児童など、市としても、どんな対策をしてもらっているか。

(アドバイザー)対策の一つとして、通級教室の活用を進めている。

- ・学力向上に関わって、外国ではICTの活用から方向転換している事例も聞く。紙の方がよくできる、という子もいるのではないか。

(校長)0か100かではない問題なので、それぞれの良さを見極めていく段階。その子に応じて考えていくこともしていく。

- ・学校運営協議会の開催前に地域協働活動委員会を開催し、その都度課題について学校運営協議会として手伝えることを考えていく。

- ・ボランティア活動のあり方について

ア 地域、保護者と方向性を検討していきたい。

イ 個人頼りになるやり方は続かないので、体系的に動けるよう構築し、組織として長く続くようにしたい。計画し、アナウンスしていきたい。

ウ 保護者は、仕事をしている人が増えているので、その意味ではなかなか参加が難しい面もあると思う。

エ 助けてくれる人はいるので、仲間を増やしていくことが大切。

5 アドバイザーより

- ・活発な意見をいただくことができた。
- ・今日の会議の一番の目的である、学校長からの学校経営方針についての承認をいただくことができた。これを元に、目標達成のためにいろいろな活動をしていく。それを見て、評価していただく。
- ・少しずつPDCAサイクルで成長していくとよい。地域協働活動委員会をしっかりと活用してバージョンアップしていく。PTAも入っていただき、リンクの輪をさらに広げ、地域、スポーツ団体等と連携していく、そういう支援をしていっていただきたい。
- ・PTAの委員さんからは、例えば、「端末をお子さんはどれくらいの頻度で持ち帰っているか」など、他の委員さんから見えにくい保護者の視点で言ってもらえるとよい。
- ・こうしたことを繰り返しつつ、効果的な活動を模索していただきたい。